

## 第28回 夕張川流域会議

概要

●日時 平成26年8月19日(火) 13:30～15:30  
●場所 南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室

過去実施したフィールドワークの結果を踏まえ、今後の流域会議の方向性について意見交換しました。意見交換では、「フィールドワークで、川の変化や川の多様性を勉強させて頂いた」、「現地で専門家に教えていただきながら進めるのが一番良い。」との意見があり、来年度は2回の会議うち、1回をフィールドワーク、もう1回を意見交換とすることになりました。またフィールドワークで得られた情報は「川の情報図」としてまとめること、さらに各機関でこれら情報を共有していくためにHP同士のリンクなどを検討していくことになりました。



### 今後の流域会議について

- ◆ 年2回開催で1回はフィールドワークを実施する。
- ◆ フィールドワークで得られた情報は「川の情報図」としてまとめる。
- ◆ 各機関、関係者が情報共有するためHP同士をリンクさせる。

詳細はHPで! <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/08isiken/02genba/23ebetu/yuubari/index.html>

「川のアクセスを改善し、川利用の拡大」

## 川の手引書についての意見交換開催

●日時 平成26年6月2日(月) 14:00～16:30  
●場所 長沼頭首工下流左岸、馬追橋上流右岸

昨年来の川の手引書についての意見交換では、川の活動や環境学習をさらに拡充するという観点から、活動拠点へのアクセス整備が必要という意見が出ています。そこで今回の意見交換は、水辺へのアクセス状況の視察を兼ねて、楽しく安全な川活動を行うために必要な事柄は何かをテーマに、川下りでよく利用される2か所を選んで、現地視察と意見交換をしました。

### 長沼頭首工下流左岸

〈課題と対応〉

- ▼ 中州は土砂堆積でヤナギ林になり河岸へのアクセス、河岸の見通しが悪くなった。
- ▼ 下流側の浅い場所が泥堆積で使えなくなり、ボートの上げ下ろしもできなくなった。
- ⇩ 当面、中州のヤナギを切り、河岸への道をつくる

### 馬追橋上流右岸

〈課題と対応〉

- ▼ 川下りの発着場としてよく利用されるが、河岸が切り立っていて、乗り降り、ボートの回収が大変。
- ▼ この河岸はかつてカヌー乗り場として整備された場所だが、洪水で流されその後は放置された。
- ⇩ 専門家の意見をききながら、使いやすい形を検討

〈現場視察、意見交換の様子〉



# 「夕張川の指導者認定システムづくりに向けて」 川の指導者講習開催

- 日時:平成26年6月28日(土)9:30~17:00、29日(日)10:00~17:00
- 場所:栗山町雨煙別小学校コココーラ環境ハウス、夕張川清幌床止め、長沼頭首工

RAC講習会のフォローアップを目的に今年も指導者講習会が行われました。1日目は、指導者としての心得、川のしくみ、川の歩き方等の座学の後、実習として川で生き物調べを行いました。2日目は、川の活動時の安全確保に関する座学と実際に川でボート操作、救助体験等を行いました。講習後、来年度の講習実施、夕張川独自の指導者認定システムの提案などがありました。



## 夕張川の川の学習

### 南幌小学校

- ◆日時:平成26年9月17日(水)8:50~11:50
- ◆場所:夕張川南幌町河川敷ゴルフ場上流端

清幌床止が増水等で利用できなかったため南幌町の河川敷ゴルフ場上流端に場所を移して実施された南幌小の川の学習は、ショウドウツバメの営巣地見学、川歩き、魚採り、川流れが行われました。いつも好評な川流れですが、この日は水温が低くて、児童たちもさすがに1回で終わってしまいました。



### 由仁小学校

- ◆日時:平成26年8月26日(火)9:30~11:45
- ◆夕張川支流ヤリキレナイ川

由仁小は、ヤリキレナイ川で川の学習を行いました。小さい川ですが大雨でますます淵が深くなり、大きなエゾウグイが採れました。児童たちは、そのほかにフクドショウ、イバラトミヨ、モツゴ、スジエビをたくさん採りました。



### ゆうばり小学校

- ◆日時:平成26年7月7日(月)9:15~13:50
- ◆場所:夕張川支流ホロカクルキ川

ゆうばり小の児童は、自分の興味に合わせて、「石」、「魚、水の流れ」、「植物」、「水質+虫」に分かれて学習をしました。水辺に様々な植物、魚がいること、夕張川の川原の石には、泥岩が多いこと、濁っていても水質はいい川であること等を学びました。

